

アジア研究教育ユニット（世界展開力・特別経費）2014 年度教育研究報告書

事業課題名	世界展開力:授業開講「学生交流とメンタルヘルス」 授業科目名:アジア研究(国際化社会と心の健康) Asian Studies (Mental Health in an Internationalized Society)
代表者名	阪上 優（京都大学 国際交流推進機構 国際交流センター）
事業概要 (600 字程度)	<p>【授業の概要】 1 回生以上(文学部以外は 3 回生以上)を対象として、「国際化社会と心の健康」に関する講義を行った。まず概論として、心の健康に関する歴史的背景と文化的な相違、そこから生じてきた問題点を講義し、討議を行った。次には、代表的な心の疾患について、その概略を講義し、一般的理解を促した。さらに、講義の後半では、現代の国際化社会における心の問題点について、授業内容を展開し、自らが所属している社会における心の健康や自らの心の健康について、自分自身の問題として考え、思索するように促した。授業の最後には、「現代社会における心の健康とは何か」あるいは「現代の若者のメンタルヘルスを増進するための提言」のうち、いずれかのテーマを選択してもらい、各人約 10 分のプレゼンテーションと質疑応答を行った。</p> <p>【授業の内容】（全ての回でグループ討議か個人発表を行った）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 心の健康に関する概論 <ol style="list-style-type: none"> 1)心の健康とは何か 2)ストレス理論 3)日本の精神医学の歴史 4)西洋の精神医学の歴史 2. 心の病と現代社会 <ol style="list-style-type: none"> 1) うつ病 2) 自殺予防 3) 日本における「ひきこもり」 4)早期介入と地域精神医療 3. 国際化社会と心の健康 <ol style="list-style-type: none"> 1) 国際化社会と予防医療 2) 海外留学とヘルスケア 4. 個人発表

<p>成果の概要 (800 字程度)</p>	<p>[成果の概要]</p> <p>将来、国際人として有意義な成果を成し遂げるために必要な、現代社会のメンタルヘルスの基礎知識と思考法について、講義を行った。受講者は、日本や個人のメンタルヘルスの傾向を把握すると同時に、現代社会の国際的なメンタルヘルスの傾向と問題点を学習した。加えて、受講者は、心の健康に関する文化的・社会的背景を理解し、自らの立脚点や立場を再認識したものとする。</p> <p>毎回の討論においては、相手の立場を尊重しつつ、自分の主張を明確に行う訓練になったものと確信する。さらに授業では、「ひきこもり」や「自殺」等、日本人のメンタルヘルスの問題点を、諸外国と比較しながら解説を加えた。受講学生の国籍は多様であり、グループ討論による学生交流を体験しながら、メンタルヘルスにおける複眼的な視点の重要性を学んだものとする。さらに、終盤においては、実際の海外渡航における安全・健康情報を提供し、海外留学の準備として、実践に役立つ知識を教授した。以上、毎回の講義と討論を通じて、多文化的・比較精神医学的観点から、学生自らのメンタルヘルスの脆弱性や特徴についても思索し、「汝、自らを知る」ことへの小さな一歩を踏み出せたものとする。</p> <p>[成果のまとめ]</p> <p>受講した学生達は、現代社会において、教養ある人間が、心の健康についてどのように考え、どのように対処するべきか、グループ討論や発表を通じて、自らが思索し、自らの意見を主張するという難問に挑戦した。最終回の個人発表においては、優秀で独創的な発表が多く、概ね本授業の目的が達成されたものと判断された。</p>
-----------------------------------	---